令和2年度 行政評価調書

総合計画 吹田市第4次総合計画

評価対象年度 令和元年度

大綱 8 行政経営

政策 1 行政資源の効果的活用

施策 1 効果的・効率的な行財政運営の推進

施策 2 公共施設の最適化

施策 3 人材育成の推進

施策 4 ICTの利活用

提出日 令和2年7月31日

提出取りまとめ 行政経営部

第4次総合計画 施策の評価シート

大綱 8 行政経営

政策 1 行政資源の効果的活用

評価対象年度 令和元年度

<取組内容>

施策	基本計画本文
施策を構成する管理事業	施策の取組状況
8-1-1 効果的・効率的な 行財政運営の推進	行政評価の取組を強化しながら、その結果を実施計画、予算に反映し、行政課題に効果的・効率的に対応します。また、大阪府からの権限移譲や、近隣自治体などとの広域連携に努めるとともに、簡素で効率的な行政組織の構築を図ります。
1 企画政策事業 2 行財政改革推進事業 3 財政事務事業 4 5 6 7 8 9	・行政評価事業において、施策の推進及び効果的かつ効率的な事業実施に資するとともに、評価に係る事務の効率化を図るため、管理事業の整理をしました。 ・令和2年4月1日の中核市移行に向けて、大阪府からの移譲事務の引継ぎの進行管理等の準備を行いました。8月に総務大臣に指定の申出を行い、11月には指定に係る政令が公布・施行され、移行が正式に決定しました。 ・限られた人的・財政的資源を有効に活用するため、全庁的に業務量の削減に努めるとともに、業務量に見合った最適な職員体制の構築に取り組みました。また、中核市移行後の円滑な業務の実施や、第4次総合計画の下での施策推進をより効果的かつ効率的に行うため、令和2年4月から新たな組織体制としました。 ・財政事務事業については、予算編成や執行管理などを適正に行った結果、施策指標である財政調整基金の残高及び公債費比率は、目標を達成しています。
8-1-2 公共施設の最適化	学校や公民館などの一般建築物のほか、道路や上下水道なども含めた公共施設について、日常的な維持管理や老朽化した施設の更新などを適切に行うとともに、施設の複合化や集約化、公有地の利活用を図るなど、総合的かつ計画的な管理を進めます。
1 資産経営事業 2 財産管理事業 3 4 5 6 7 8 9 10	・「吹田市公有地利活用の考え方」に基づき、公有地は市民共有の財産であるとの認識の下、普通財産につきましては、その特性や現況の利用状況を的確に把握した上で、有償貸付や売却など利活用の方法の検討を進めます。 ・公共施設を経営資源として位置づけ、財務、供給及び品質の3つの視点の総合的かつ適切な調和を図り、最適化を推進します。 ・令和元年度は、過年度に実施した市民アンケート調査の結果等も踏まえ、各施設の所管部署との協議を進めるなど一般建築物を対象とした個別施設計画の令和2年度末の完成に向け、取組を推進しました。 ・施策指標1の「一般建築物の個別施設計画の策定が完了した割合」については、数値上の進捗はゼロですが、令和元年度に計画していた取組は予定どおり実施したため、進捗状況は「A」としました。
8-1-3 人材育成の推進	時代の変化を見据えながら、行政課題に適切かつ柔軟に対応できる職員を育成するとともに、職員が能力を発揮できる組織づくりを行うため、市民対応能力や政策立案能力の向上などを目的とした職員研修の充実や人事評価制度の活用などを進めます。
1 人事管理事業 2 3 4 5 6 7 8 9 10	・実務基礎能力について、実務研修の実施と併せて効果測定等による取得状況の確認を行い、特に若手職員の事務処理能力の向上を図りました。 ・政策課題についてグループで研究する研修の実施や自主研修グループの活動支援により、職員の自主的な取組を促進しました。 ・人事評価制度について、例年実施してきた評価者研修に加え、目標管理や評価面談を「自育」へ活用するためのノウハウの理解を中心とした被評価者研修を実施しました。 ・施策指標「職員1人当たりの年間研修受講回数」については、目標値を下回っていますが、平成30年度改定の「吹田市職員人材育成基本方針」に基づく職員の育成や職員が力を発揮できる組織づくりの取組の推進途上であることに加え、新型コロナウイルス感染拡大防止のため年度末の研修開催中止の経緯も勘案し、進捗状況は「B」としました。
8-1-4 ICTの利活用	市民の利便性の向上や行政運営の効率化を図るため、ICTの利活用を進めます。また、災害発生時などにおける行政サービスの継続性を確保するとともに、情報セキュリティの脅威に対応するため、情報システムの強化を図ります。
1 情報システム運用事業 2 3 4 5 6 7 8 9 10	・更新時期を迎えていた住民情報系システム用機器について、新しい技術を取り入れていくことにより、将来にわたってシステムが安定稼働できるように機器の更新を実施しました。 ・本市における地理空間情報の位置基準であり、吹田市統合型GISの背景図としても利用している吹田市共通基盤地図について、約10年ぶりとなる更新を実施し、共通基盤地図利用室課業務の正確性向上を図りました。 ・新規システムとして施設予約システムを構築し、現在は施設利用者へのサービス開始に向けて手続や準備を進めているところです。

第4次総合計画 施策の評価シート

大綱 8 行政経営 成策 1 行政資源の効果的活用 評価対象年度 令和元年度

<施	策指	標等の	D推移	>									目標 (令和10 年度)	めざっちの
8-1-1	効果的	対率的	な行財政	(運営の推	進									
施策	賃指標1	財政調整基金残高(単位:億円)												
年度	策定時 (平成28年度)	(平成30年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		100億 円	
実績	106	122	134											限ら
進捗 状況		Α	Α									•		1
施策指標2 公債費比率(単位:%)											>>		ナ 貝 派	
年度	策定時 (平成28年度)	(平成30年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		10%	1
実績	7.5	7.1	7.6										以下	†
進捗 状況		Α	Α											<i>t</i> ,
	公共施	題設の最近	適化											1
施策指標1 一般建築物の個別施設計画の策定が完了した割合(単位:%)										i		Ī		
年度	策定時 (平成29年度)	(平成30年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		100%	源カ
実績	(平成29年度)	0	0											3
進捗		Α	Α									-		J
状況 施策	☑ 賃指標2						_					>>		7
年度	策定時	(平成30年度)	令和元年度	会和2年度	会和3年度	今和4年度	会和5年度	令和6年度	今和7年度	令和8年度	会和Q在度			
	(平成29年度)	(干灰50平皮)	节和几千庆	月和2千尺	17和0千尺	17和4千尺	け和り午及	17和0千及	17和7千尺	月和0千尺	け作り牛皮		-	
実績 進捗														:
状況		- 1 - 1// 2	.,,											
		が成の推議	焦											
施策	指標1			職員	1人当たり	りの年間の	研修受講│ □	回数(単位	江:回)					
年度	策定時 (平成29年度)	(平成30年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		7回	
実績	5.9	4.3	3.6											
進捗 状況		В	В)		:
施策	指標2					-	_							
年度	策定時 (平成29年度)	(平成30年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			1
実績	_												_	1
進捗 状況														:
	ICTの	利活用		<u> </u>				<u> </u>		<u> </u>				i
施策	 賃指標1			ICTを活力	用した行政	女サービス	スの稼働は	木止時間(単位:分)				i 3
年度	策定時	(平成30年度)		令和2年度							令和9年度		0分	:
実績	(平成29年度)	240	0										, .	
進捗		A	A									P		(
状況	5 提押 2		_ ^				_					>>		
	新標2 策定時	/mm ===	A 1	A5-0	A500			A500	A5	A5-0	A#0.55			
年度		(平成30年度)	令和元年度	令和2年度	市和3年度	市和4年度	节和5年度	节和6年度	市和7年度	节和8年度	市和9年度		_	
実績	-													
進捗 状況														